

# 2005年3月期中間決算説明会

2004年11月25日

森永乳業株式会社

## 業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。

- 
- 1 . 商品分野別の動向
  - 2 . 主なトピックス
  - 3 . 今期の業績見通し

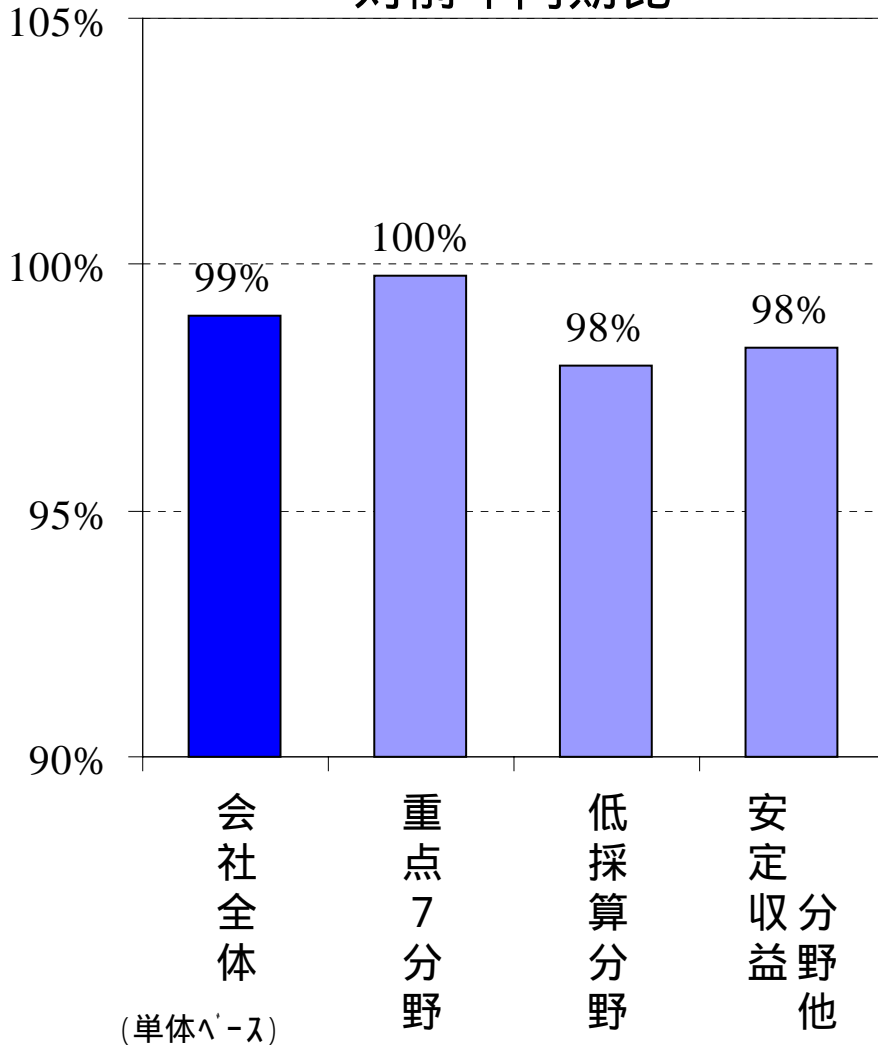
---

# 1 . 商品分野別の動向 ( 上期実績 )

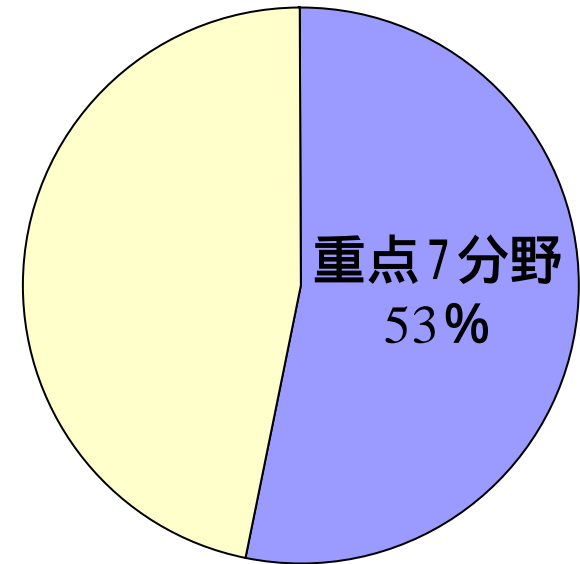
本資料では、前年同期と比較しやすいように、売上計上基準変更前の数値にてご説明致します。

# 今中間期の売上実績

対前年同期比



売上構成比



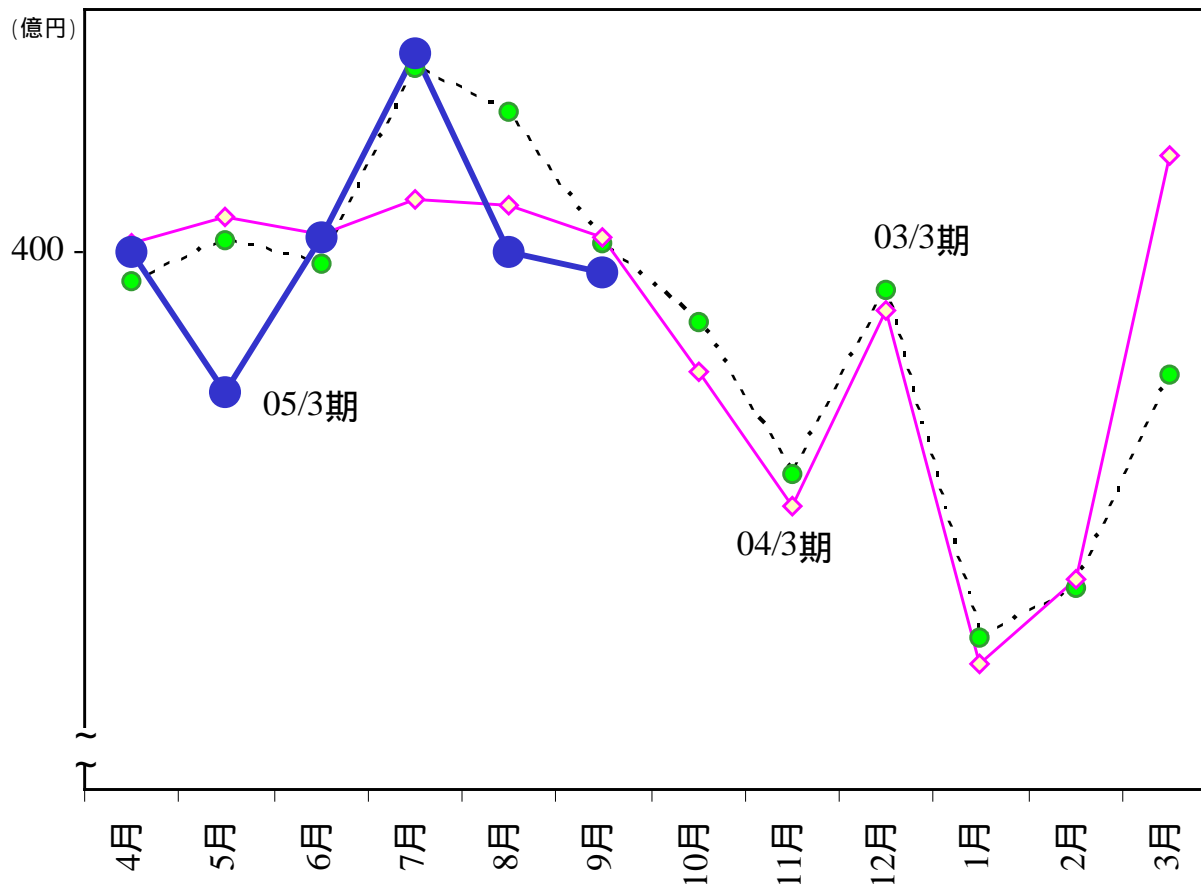
(04年9月期)

売上構成比の変化

52%	53%
(03/9)	(04/9)

# 単体売上高の月次推移

- 5月の天候不順を7月の猛暑で挽回するも、商品絞込みや相次ぐ台風上陸の影響で前年同期並みの水準。



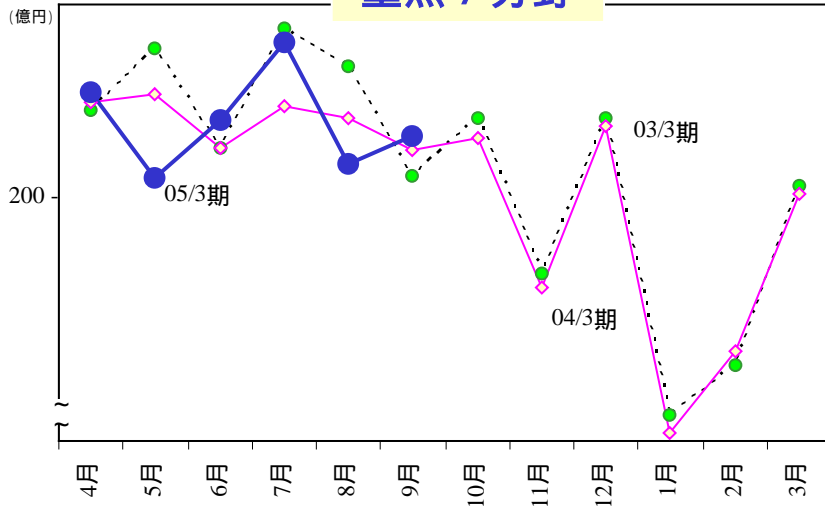
四半期別売上高

	売上高	前同比
第1Q (4-6月)	1,175	97%
第2Q (7-9月)	1,237	101%
上期 (4-9月)	2,412	99%

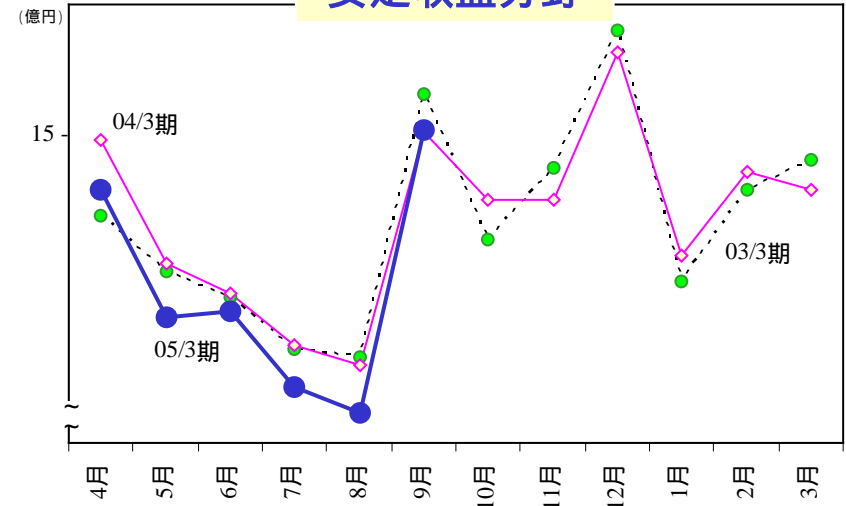
(単位：億円)

# 分野別の月次売上高

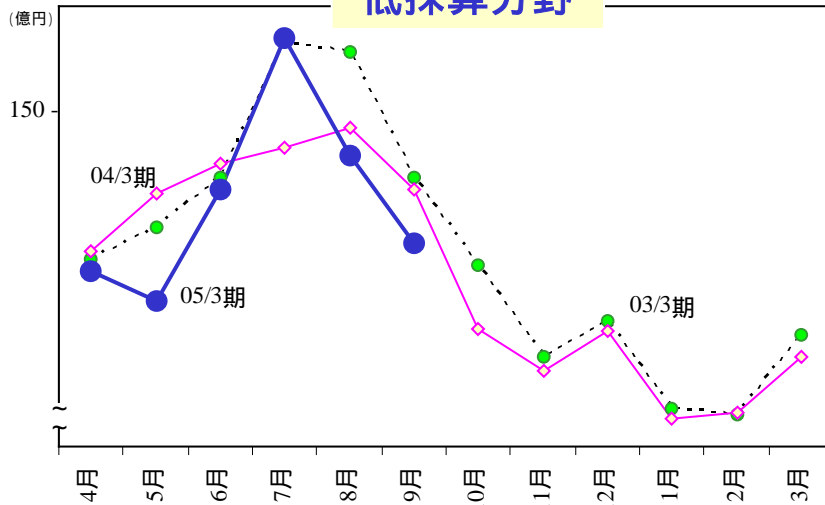
重点7分野



安定収益分野



低採算分野



**重点7分野**

(乳飲料・ティー、ヨーグルト、デザート、チーズ、栄養食品、業務用食品、機能素材)  
 今後の成長が期待でき、収益性も高い。最も重点を置く分野。

**低採算分野**

(牛乳、冷菓、果汁飲料)  
 現時点の収益性は低いですが、マーケティング力強化及び合理化により改善を図る。

**安定収益分野**

(クリープ、乳酸菌飲料)  
 成熟市場であり、安定的に収益に貢献。

# 重点7分野の売上実績

< 重点7分野 >		前同比
乳飲料/ティー	346 億円	107%
ヨーグルト	289 億円	88%
デザート	135 億円	112%
チーズ	155 億円	100%
栄養食品	109 億円	100%
業務用食品	212 億円	98%
機能素材	21 億円	110%
重点7分野	1,267 億円	100%

## 主な要因

- 乳飲料/ティーは、マウントレーニア、リプトンが好調持続。
- ヨーグルトは、アロエが苦戦。
- デザートは、ヒット商品効果。
- チーズは、家庭用伸び悩むも業務用でカバー。
- 栄養食品は、幼児用粉乳が善戦。
- 機能素材は、ペプチド等機能性原料が好調。

# 乳飲料・ティー

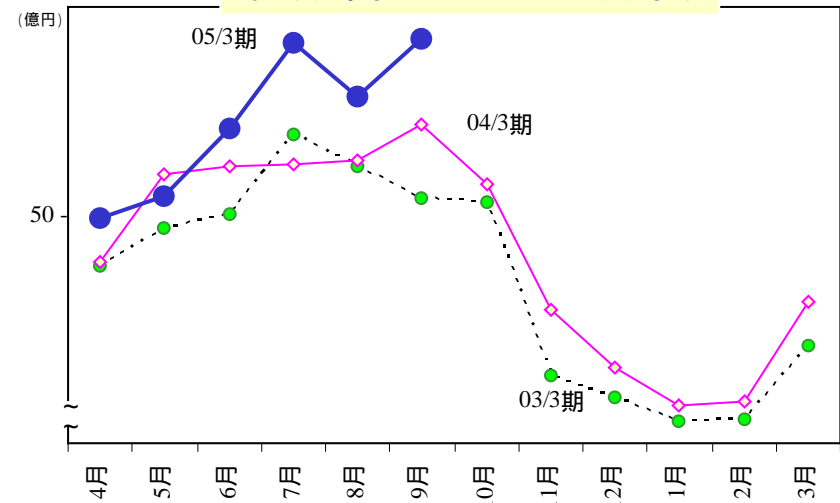
## ・マウントレニアシリーズ好調

- ・チルドコーヒー市場は好調に拡大。  
(2003年度：前年比7%増)
- ・特に市場の35%を占めるカップタイプが拡大。当社はこの市場のパイオニアとしてシェア6割。
- ・今後もおいしさとクオリティを追求するとともに、ラインアップ拡充で支持拡大を図る。

## ・リプトンティーも好調持続

- ・チルド紅茶市場は前年比8%増。
- ・リプトンは、おいしさと季節限定フレーバーが支持されシェア7割超のトップブランド。

### 乳飲料・ティーの動向



### ブランド別売上高

	売上高	前同比
マウントレニア	134 億円	114%
リプトン	93 億円	118%



# ヨーグルト

## • 上期前年割れ

- ビヒダスは前期並みを維持するも、アロエ・ラクトフェリンが落ち込み2ケタ減。
- アロエは競合との競争激化で苦戦。下期は商品リニューアルと10周年キャンペーンで巻き返しを図る。
- ラクトフェリンは素材の認知度を高める活動を継続的に実施。
- 継続的に新商品を投入する。

ReNewal



7月中旬

New !



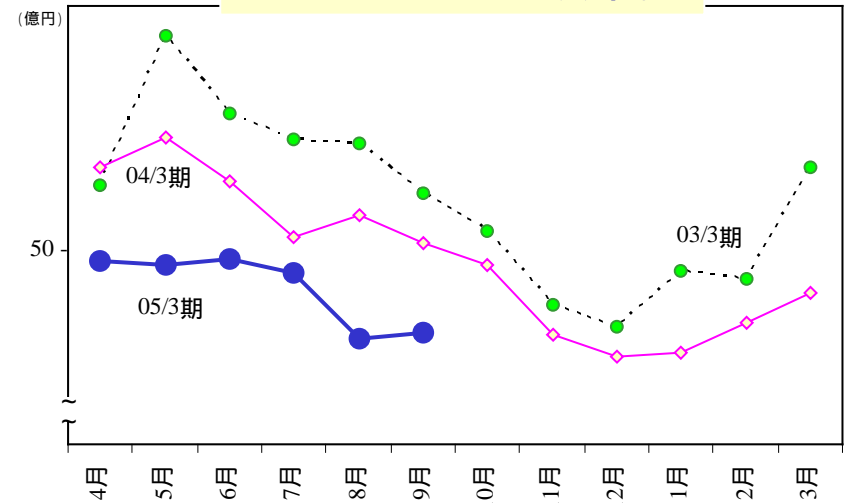
9月下旬

ReNewal



12月中旬

## ヨーグルトの動向



## ブランド別売上高

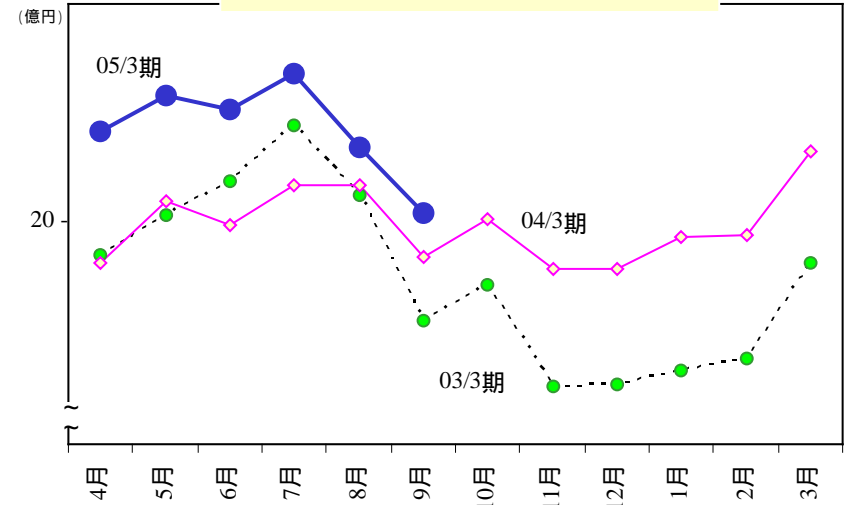
	売上高	前同比
アロエ	116 億円	83%
ビヒダス	79 億円	100%
ラクトフェリン	23 億円	79%

# デザート

## • 昨年度からの好調持続

- 新商品を相次ぎ投入。大容量プリンや鉄人・銘店シリーズが好評を博し、売上2ケタ増に大きく貢献。
- 下期も、新商品投入やリニューアルで拡大を図る。

## デザートの動向



## 主な商品ラインアップ

ReNewal



9月下旬

ReNewal



10月上旬

ReNewal



9月上旬

New !



9月上旬

New !



10月下旬

New !



10月中旬

# 牛乳・冷菓

## 牛乳：NB比率は着実に上昇

- 今後も取引先・消費者へ「森永のおいしい牛乳」をアピールし、NB比率を高めていく。
- 「森永のおいしい牛乳」は、8月より東北地区でも発売。  
(上期：36億円、通期：70億円)
- 品種削減：アイテム数10%減。
- 宅配事業：195万世帯、155億円。

## ブランド別売上高構成比

	04/3	04/9
NB	18%	27%
PB	66%	58%
FB	16%	15%

(注)対象は1000ml牛乳(金額ベース)



## 冷菓：重点商品への絞込み

- ~ ピノ、MOW、クリスピーナ、チェリオ
- 取引条件の改善と品種削減による収益改善  
~ アイテム数30%減

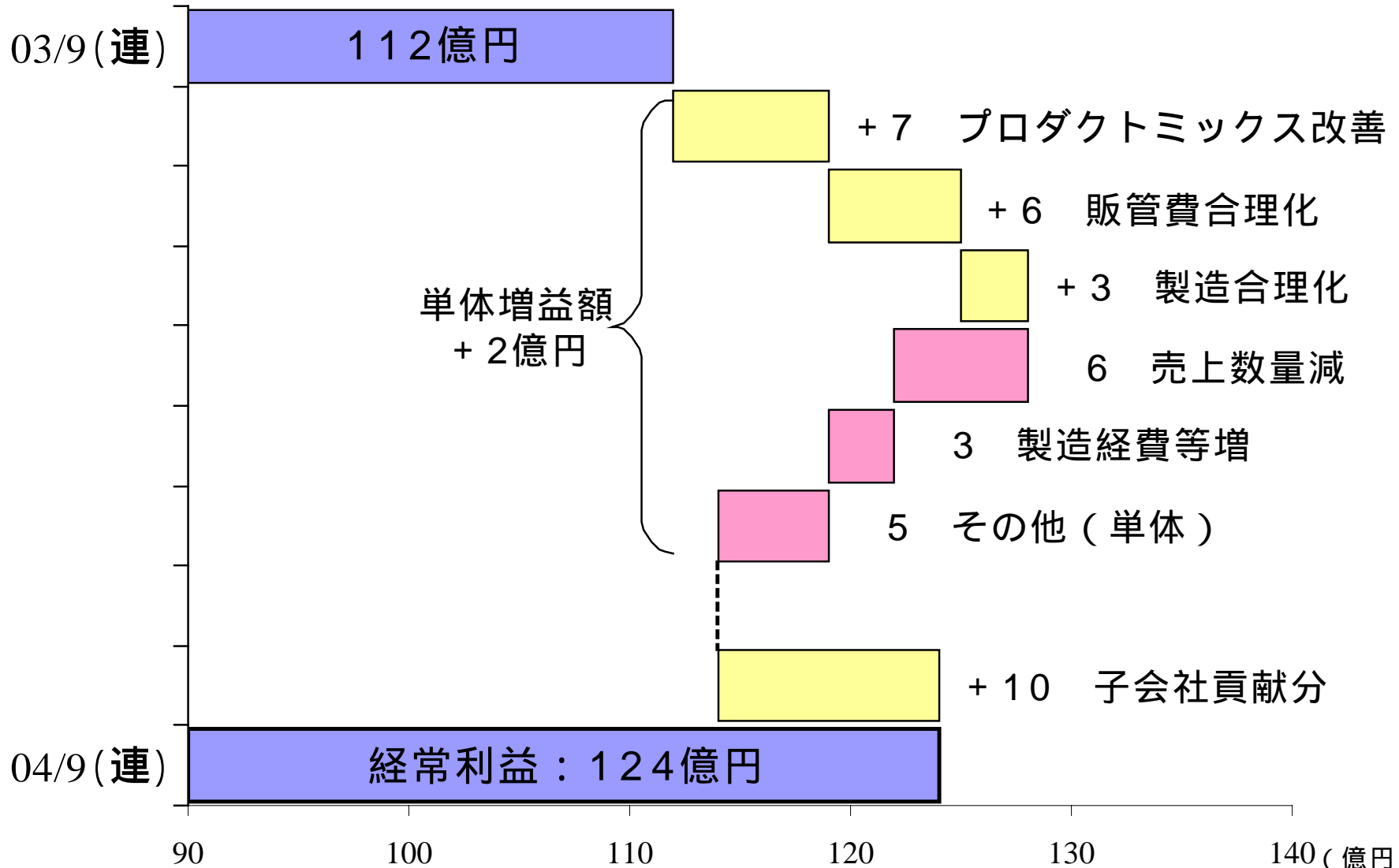
低採算分野は、売上は前期水準に達しなかったものの、商品構成の変化で収益性は改善

---

## 2 . 主なトピックス



# 経常利益の増減益要因（上期実績）



# 連結子会社の状況

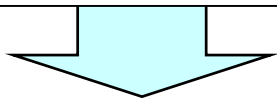
- 好調な子会社
  - 生産・生販会社は、単体と同様売上横ばい。
  - 販売会社は、新規開拓が進み、売上増加。
  - その他会社のうちクリニコは前同比121%と好調持続。
  - 今上期は、販売会社・その他会社の売上・利益貢献度大。

	売上高	前同比	社数	主な子会社
生産・生販会社	643 億円	100%	17社	横浜乳業、エムケーチーズ
販売会社	786 億円	112%	11社	デイリーフーズ
その他会社	419 億円	114%	9社	クリニコ、森永エンジニアリング
合計	1,848 億円	108%	37社	

(注) 合計は単純合計

# デイリーフーズの経営統合

- 九州デイリーフーズ
- 四国デイリーフーズ
- 中国デイリーフーズ
- 西日本デイリーフーズ
- 北陸デイリーフーズ
- 東海デイリーフーズ
- **デイリーフーズ**
- 新潟デイリーフーズ
- 東北デイリーフーズ
- 北海道デイリーフーズ



2005年  
4月

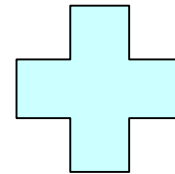
**(新) デイリーフーズ  
売上高 1,100億円**

- 全国各地に配置しているデイリーフーズ10社を経営統合
- 食品流通業界の環境変化に対応
- グループ事業強化の一環

## 新デイリーフーズの特長

(従来のデイリーフーズ各社)

- 地域別にきめ細かな対応
- 大手に比べ小回りがききローコスト



グループ10社が手を結ぶことで

- 商談機能の強化
- チルド、日配品中心に積極拡大
- 物流、情報提供で差別化
- 一括仕入れでコストダウン、事務の効率化・迅速化
- 将来的には株式上場を目指す

# 新工場の概要と現況

## • 富士乳業新工場

- 9月に建屋完成。10月より製造設備搬入開始。2005年3月製造開始。
- 4ラインでスタート。
- 高品質・高生産性の最新鋭工場。
- 新設備・新技術による差別化商品を製造。
- 冷菓の中核製造拠点（基幹商品に絞り込んで生産）

## • 神戸新工場

- 2004年12月着工、2006年春製造開始。
- カップ飲料、ヨーグルト、臨床栄養食品、高齢者向け新商品の4ラインでスタート。
- 西日本地区の「市乳・チルド商品物流センター」を併設。



---

## 3 . 今期の業績見通し

# 今期の見通し（連結）

（単位：億円）	今期	前期	前期比	（参考） 5月予想
売上高	5,790 ( 5,720 )	5,655	102% ( 101% )	5,790
営業利益	155	132	117%	157
経常利益	170	151	112%	170
当期利益	78	65	121%	78

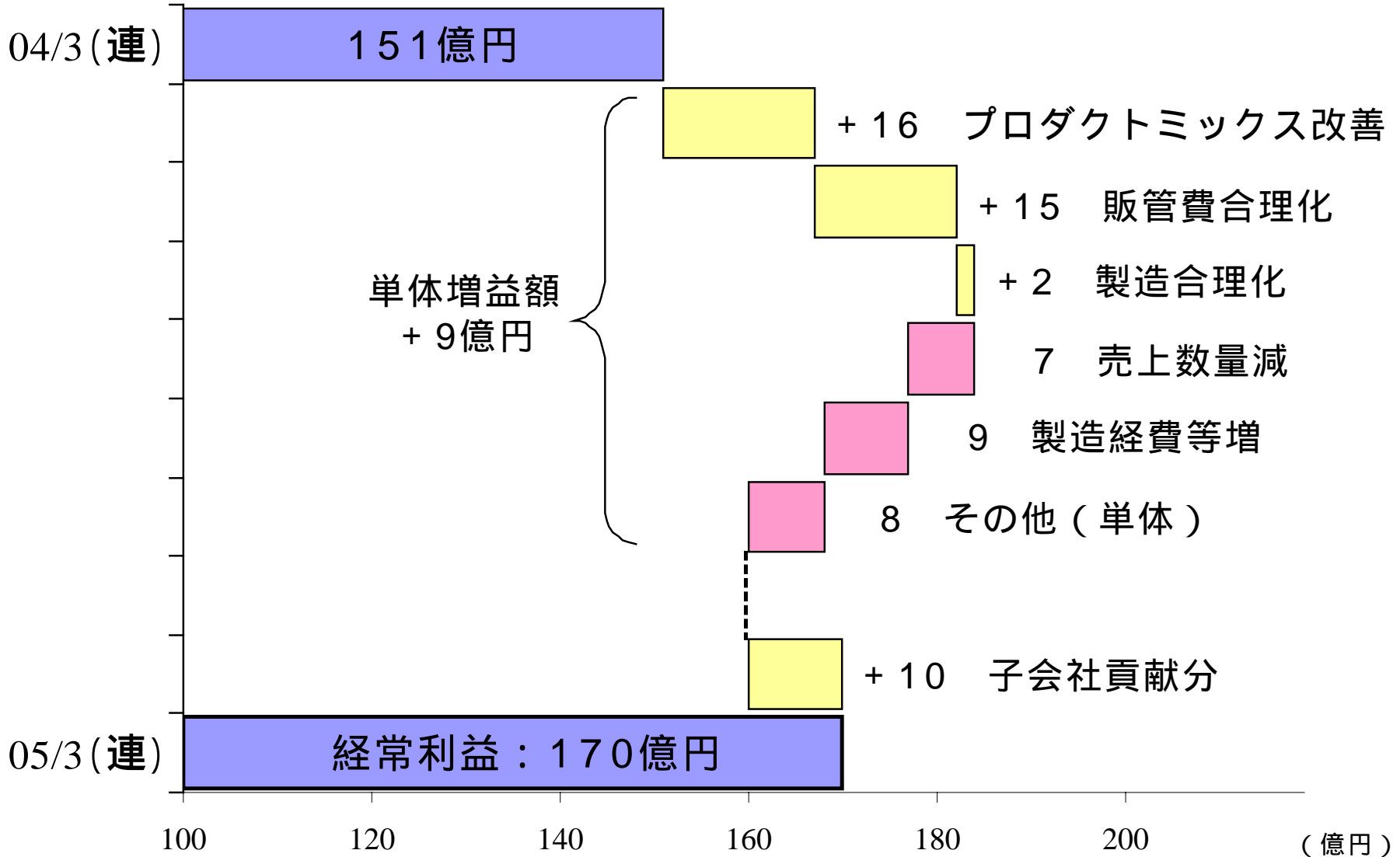
（注）カッコ内は売上計上基準変更後

# 今期の見通し（単体）

（単位：億円）	今期	前期	前期比	（参考） 5月予想
売上高	4,549 (4,470)	4,568	100% ( 98%)	4,670
営業利益	92	78	119%	101
経常利益	110	100	110%	120
当期利益	48	38	126%	52

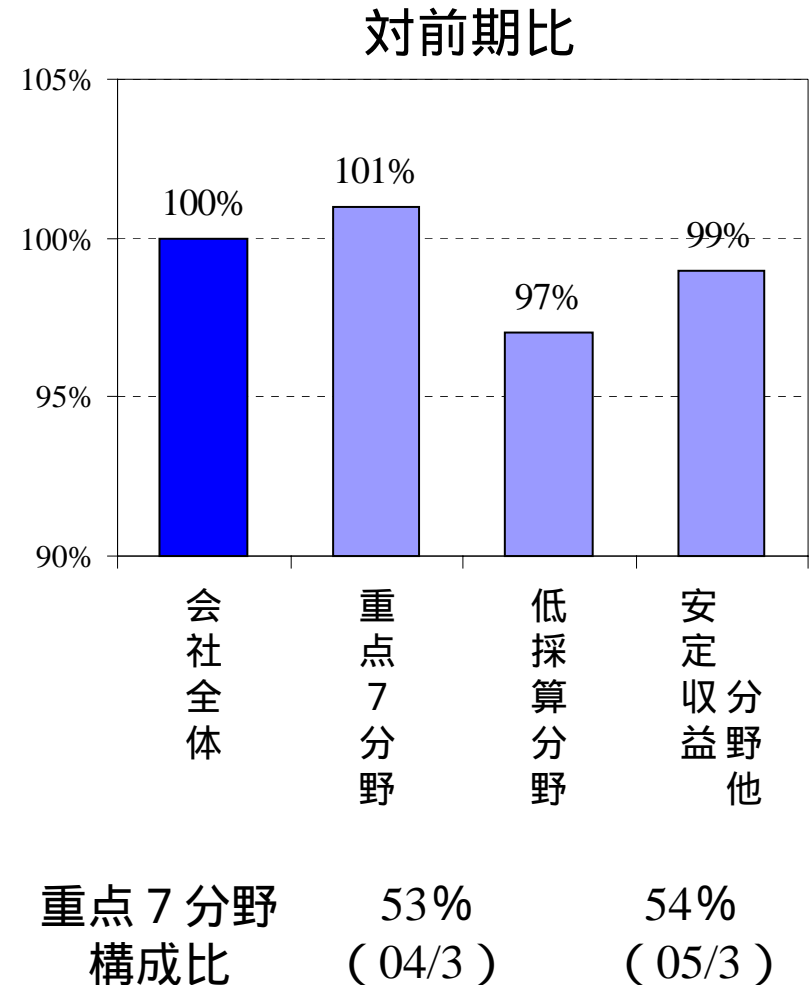
（注）カッコ内は売上計上基準変更後

# 経常利益の増減益要因（今期見通し）



# 重点7分野の今期見通し

< 重点7分野 >		前期比
乳飲料/ティー	620 億円	107%
ヨーグルト	560 億円	93%
デザート	270 億円	111%
チーズ	320 億円	100%
栄養食品	220 億円	101%
業務用食品	430 億円	99%
機能素材	40 億円	108%
<b>重点7分野</b>	<b>2,460 億円</b>	<b>101%</b>



おいしいをデザインする



森永乳業株式会社